

第10回PIERSフォーラム オンラインアンケート集計

リモート参加者59名のうち40名から回答をいただきました
ご協力ありがとうございました

1. 今回のPIERSフォーラムをどのようにお知りになりましたか？ (複数回答可)	
PIERS研究会の開催案内メール	27
PIERS研究会のホームページ	1
職場の上司や同僚からの紹介	10
友人や知り合いからの紹介	1
その他	2

2. これまでPIERSフォーラムに参加されたことがありますか？	
初めて参加した	13
これまでオンラインで参加したことがある	14
オンラインになる前から参加したことがある	13
わからない	0

3. 今回のPIERSフォーラムを楽しんで頂けましたか？ (複数回答可)	
興味深い内容が多く、大いに楽しんだ。	25
オンラインで簡単に参加できてよかった。	23
内容は面白いが、時間が長過ぎた。	1
発表をもっと工夫してほしい	0
楽しめる内容が少なかった。	1

4. PIERS研究会の活動に関心がありますか？ ホームページにアクセスしたことがありますか？	
大いに関心がある。ホームページも見ている。	14
関心はあるが、ホームページは見たことがない。	18
PIERS研究会を初めて知った。活動に関心がある。	7
残念ながら自分の関心とは異なっている。	1

5. これからもPIERSフォーラムに参加されますか？	
是非とも参加したい。	18
テーマによっては参加したい。	20
様子をみたい。	2
積極的な意欲はない	0

6. 今後のPIERSフォーラムで取り上げるトピックスやPIERS研究会の活動について、ご意見や提案をご自由にお書き下さい。	
一部の聴講に留まりましたが、当方ない視座でのご説明に引き込まれました。フォーラムの開催時期については、年末の気忙しい時期を外すことを希望致します。	
興味深いご発表とご討議を有難うございました。「海の上を歩く栈橋」は、港研の研究栈橋のように非常にワクワクさせるものですが、皆様のご意見にもあったように、栈橋だけでなく、ビーチやマリーナ等ともトータルで考えた日本型の活用が考えられると思います。四面に海を臨む我が国はやはり水際の活性化が望まれます。	
千葉の稲毛海岸の栈橋のその後が知りたい	
我が国における栈橋建設の動きをレビュー(例えば稲毛海岸)	

第 10 回 PIERS フォーラム オンラインアンケート結果と考察

PIERS 研究会

■ 集計結果

[粗集計一覧](#)

■ 考察

1) 開催の周知ルート

PIERS 研からの案内メール(過去の参加者は網羅、学識経験者などを含め全体で 200 名ほど)が多いですが、職場からの紹介(行政及び会員所属法人)により新しい参加者が開拓されています。

2) 参加経験

初参加は 13 名(約 1/3)です、第 7 回のオンライン以降とそれ以前からの堅いメンバーもそれぞれ 1/3 ずつでした。

3) フォーラムの印象

厳しい意見はもともと出てきにくいですが、オンラインは参加のハードルを下げる効果が大きく、ハイブリッド方式を継続する意義は大きいようです。

時間が長すぎたという意見は 1 人だけで、参加者リストでもみても途中退出者は数名なので、時間的にはまずまずだったと考えてもいいようです。

4) PIERS 研への関心

フォーラムにより PIERS 研の活動を広く知っていただく効果は大きいようです。

HP を覗いていただくための魅力アップも検討課題です。

5) 今後の参加意欲

どのようなテーマが関心を引くのか、次回以降のアンケートなどでマーケットリサーチをしていく必要があります。

6) 自由意見

国、自治体、法人からの参加も前回よりは少なく、11 月末は確かにあまりいい時期ではなかったかもしれませんが、もう少しアンテナの感度をあげることが必要です。

会員からだと思いますが、稲毛海岸のフォローを期待する意見が 2 名ありました。